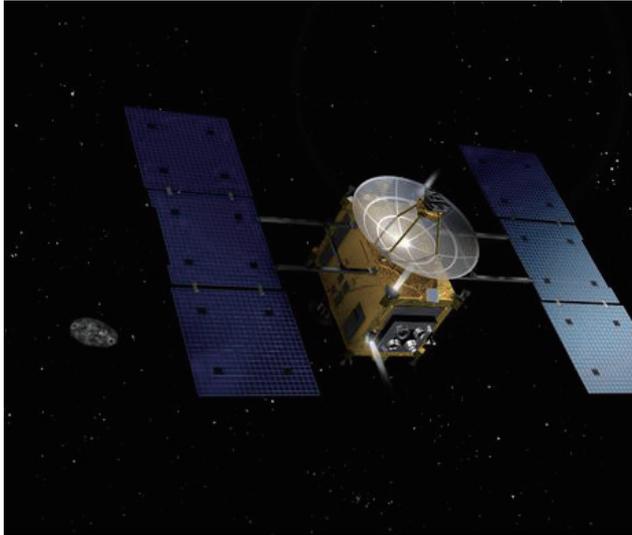


beyond press

第7回 beyond 研究会

宇宙とアートの最前線 川口淳一郎氏 × 河口洋一郎氏 公開討論



Junichiro Kawaguchi

川口淳一郎氏 JAXA シニアフェロー
宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系 教授
宇宙工学者、工学博士。1978年 京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任。2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループ プログラムディレクター (JSPEC/JAXA)。1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務める。現在、宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 (ISAS/JAXA) 宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月より、シニアフェローを務める。ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めていた。



Yoichiro Kawaguchi

河口洋一郎氏 東京大学大学院教授
アーティスト
独自の「グロースモデル」による世界的CGアーティストとして活躍中。8K超高精細CGによる全天周プラネタリウム映像や大型モニュメント、伝統工芸の未来化、ロボティックな立体造形の創出。ヴェネツィア・ビエンナーレ'95日本館代表作家。
2010年ACM SIGGRAPH国際大会ディスティンディングイシュー・アーティスト・アワード、2013年芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章を受章。

宇宙×アートで社会を豊かにする有志による宇宙芸術コミュニティbeyond [space+art+design]では、宇宙芸術の探究・実践の新たな取り組みとして、隔月の研究会シリーズを2015年から開始します！記念すべき第1回(通算では7回目)は、「はやぶさ」で最先端宇宙技術に挑戦したJAXAの川口淳一郎氏と、「宇宙の鳥」種子島に生まれて世界的に活躍するCGアーティストの河口洋一郎氏の公開討論です。モデレーターは、2017年開始予定の種子島宇宙芸術祭のアートディレクターを務める森脇裕之(beyond/多摩美術大学准教授)。司会は内富素子(beyond/JAXA)。宇宙と芸術の最先端が会出ウケイティブな場に、是非お誘いあわせの上ご参加ください。

★参加登録・お問い合わせ先

beyond事務局 info@beyond-spaceart.net

(参加ご希望の方は、お名前・ご所属・交流会参加有無を添えて、前日までにご連絡ください)

Date

2015年3月1日(日) 15:00~17:30

Place

成蹊大学 6号館 カフェ&ホール COMMichi
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

Program

15:00 開会 (司会:内富素子)
15:10 川口淳一郎氏のプレゼンテーション
15:40 河口洋一郎氏のプレゼンテーション
16:20 会場参加ディスカッション (モデレーター:森脇裕之)
「エンジニアリングとアートの独創性について」
17:30 閉会
18:00 交流会

Admission

一般:1000円
大学生:500円
高校生以下:無料
「宇宙芸術写真集」付

※beyond活動メンバーは500円(写真集希望者は1000円)
※参加費は、当日経費(資料準備・講師謝金等)に充当し、余剰が生じた場合は次回研究会や写真集印刷等のbeyond運営経費として大切に活用させていただきます。

beyond space+art+design

beyond-spaceart.net